



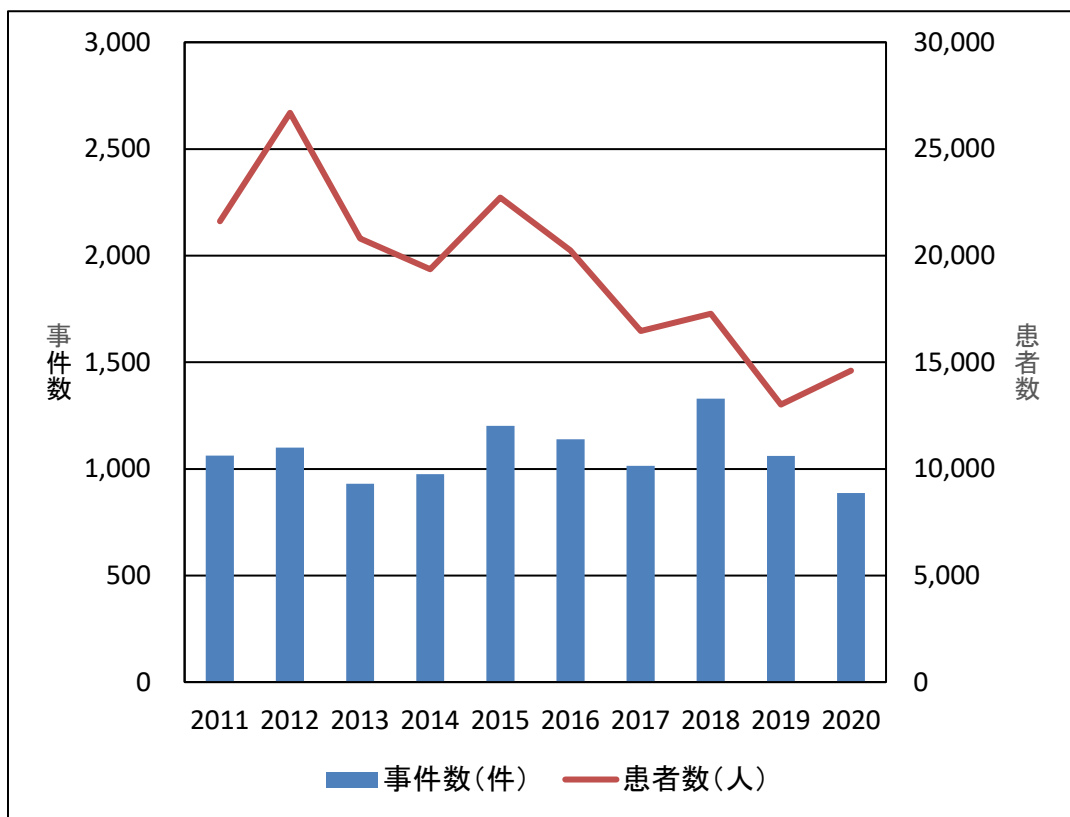
1. 全国食中毒の事件数と患者数の推移

2011年～2020年の全国における食中毒の発生状況(報告数)をみますと、2020年は2019年に比べて事件数は減少しましたが、患者数は増加しました。

新型コロナウイルス対策の徹底もあり、ノロウイルスによる食中毒事件数は2019年の半分以下に減少しましたが、患者数は、病原大腸菌による大規模な食中毒事件が2件発生したことにより増加しました。

2020年の死者数の3件は、植物性自然毒(キノコとグロリオサ球根(推定)が各1件)、動物性自然毒(フグ1件)を原因とするものでした。

最近10年間の全国の食中毒の事件数と患者数の推移



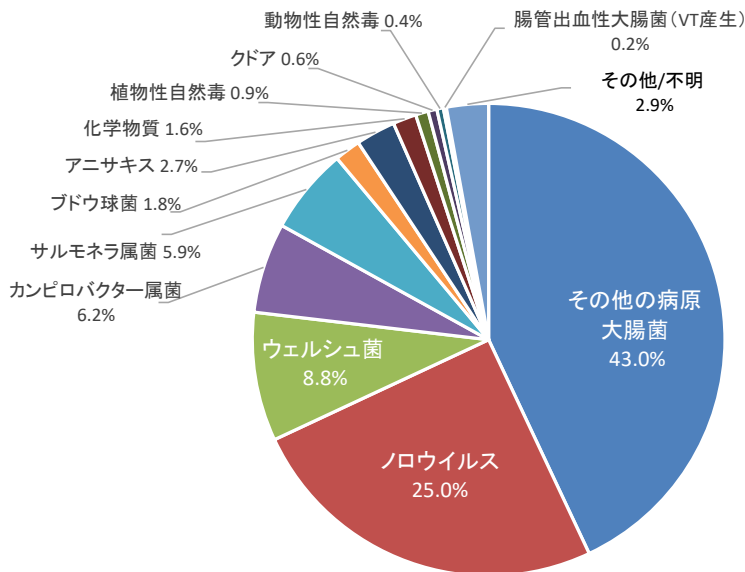
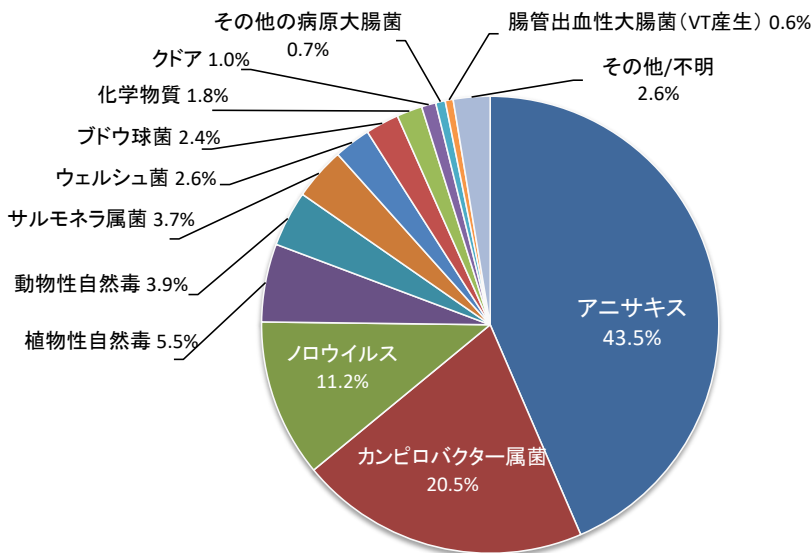
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
事件数(件)	1,062	1,100	931	976	1,202	1,139	1,014	1,330	1,061	887
患者数(人)	21,616	26,699	20,802	19,355	22,718	20,252	16,464	17,282	13,018	14,613
死者数(人)	11	11	1	2	6	14	3	3	3	3



2. 病因物質別の食中毒発生状況(2020年)

2020年の病因物質別の食中毒発生状況をみると、事件数は、2019年に続いて寄生虫のアニサキスが386件で第1位になりました。アニサキスに次いでカンピロバクター属菌が182件、ノロウイルスが99件で、2019年と順位は変わらず、全体の約75.2%を占めています。

2020年の患者数は、その他の大腸菌(O157に代表される腸管出血性大腸菌以外)が6,284人と最も多くなりました。これは埼玉県(6月)と東京都(8月)で発生した大規模な食中毒事件によるものです。反面、ノロウイルスによる患者数は3,660人と2019年に比べて3,000人以上減少しました。3番目はウェルシュ菌、4番目はカンピロバクター属菌と、その他の大腸菌による大規模事件を除くと、例年と同じ病因物質が上位を占めました。



3. 最近3年間の病因物質別の食中毒発生件数の推移

病因物質別食中毒発生件数(事件数)

病因物質	2020年		2019年		2018年	
	事件数	構成比	事件数	構成比	事件数	構成比
アニサキス	386	43.5%	328	30.9%	468	35.2%
カンピロバクター属菌	182	20.5%	286	27.0%	319	24.0%
ノロウイルス	99	11.2%	212	20.0%	256	19.2%
植物性自然毒	49	5.5%	53	5.0%	36	2.7%
動物性自然毒	35	3.9%	28	2.6%	25	1.9%
サルモネラ属菌	33	3.7%	21	2.0%	18	1.4%
ウェルシュ菌	23	2.6%	22	2.1%	32	2.4%
ブドウ球菌	21	2.4%	23	2.2%	26	2.0%
化学物質	16	1.8%	9	0.8%	23	1.7%
クドア	9	1.0%	17	1.6%	14	1.1%
その他の病原大腸菌	6	0.7%	7	0.7%	8	0.6%
腸管出血性大腸菌(VT産生)	5	0.6%	20	1.9%	32	2.4%
腸炎ビブリオ	1	0.1%	0	0.0%	22	1.7%
セレウス菌	1	0.1%	6	0.6%	8	0.6%
その他/不明	21	2.4%	29	2.7%	43	3.2%
計	887	100.0%	1,061	100.0%	1,330	100.0%

病因物質別食中毒発生件数(患者数)

病因物質	2020年		2019年		2018年	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
その他の病原大腸菌	6,284	43.0%	373	2.9%	404	2.3%
ノロウイルス	3,660	25.0%	6,889	52.9%	8,475	49.0%
ウェルシュ菌	1,288	8.8%	1,166	9.0%	2,319	13.4%
カンピロバクター属菌	901	6.2%	1,937	14.9%	1,995	11.5%
サルモネラ属菌	861	5.9%	476	3.7%	640	3.7%
ブドウ球菌	260	1.8%	393	3.0%	405	2.3%
アニサキス	396	2.7%	336	2.6%	478	2.8%
化学物質	234	1.6%	229	1.8%	361	2.1%
植物性自然毒	127	0.9%	134	1.0%	99	0.6%
クドア	88	0.6%	188	1.4%	155	0.9%
動物性自然毒	65	0.4%	38	0.3%	34	0.2%
腸管出血性大腸菌(VT産生)	30	0.2%	165	1.3%	456	2.6%
セレウス菌	4	0.0%	229	1.8%	86	0.5%
腸炎ビブリオ	3	0.0%	0	0.0%	222	1.3%
その他/不明	412	2.8%	465	3.6%	1,153	6.7%
計	14,613	100.0%	13,018	100.0%	17,282	100.0%

4. 原因施設別の食中毒発生件数(2020年)

原因施設	事件数	構成割合	原因施設 が判明した ものの構成 割合	患者数	構成割合	原因施設 が判明した ものの構成 割合	一事件あ たりの患 者数	死者数	構成割合	原因施設 が判明した ものの構成 割合
飲食店	375	42.3%	55.1%	6,955	47.6%	49.2%	18.5	-	-	-
家庭	166	18.7%	24.4%	244	1.7%	1.7%	1.5	3	100.0	100.0
販売店	49	5.5%	7.2%	90	0.6%	0.6%	1.8	-	-	-
事業場	31	3.5%	4.6%	984	6.7%	7.0%	31.7	-	-	-
仕出屋	26	2.9%	3.8%	4,310	29.5%	30.5%	165.8	-	-	-
学校	12	1.4%	1.8%	331	2.3%	2.3%	27.6	-	-	-
旅館	11	1.2%	1.6%	508	3.5%	3.6%	46.2	-	-	-
製造所	7	0.8%	1.0%	631	4.3%	4.5%	90.1	-	-	-
病院	4	0.5%	0.6%	81	0.6%	0.6%	20.3	-	-	-
その他・不明	206	23.2%	-	479	3.3%	-	2.3	-	-	-
計	887	100.0%	100.0%	14,613	100.0%	100.0%	16.5			

※本資料は厚生労働省ホームページに掲載されている2021年4月20日時点の食中毒統計資料のデータを編集したものです。元となるデータは次のURLをご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html